



平成 23 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 大 幸 薬 品 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 柴 田 高
(コード番号：4574 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 財 務 本 部 長 吉 川 友 貞
(TEL. 06-6382-1135)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 11 月 11 日に公表した業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

平成 23 年 3 月期連結会計年度（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益（円）
前回発表予想（A）	4,312	△1,853	△1,860	△2,256	△176.18
今回発表予想（B）	4,619	△1,242	△1,192	△2,228	△173.55
増減額（B－A）	307	610	667	27	
増減率（%）	7.1	—	—	—	
（ご参考）前期実績	8,816	2,489	2,531	1,645	128.97

修正の理由

（売上高）

医薬品事業につきましては、広告宣伝の強化等により、国内向けの出荷が、前回予想時の計画を上回って推移し、海外向けにおきましても、香港市場への出荷が堅調であったことから、当連結会計年度（以下、「当期」）の医薬品事業の売上高は、前回予想比 102 百万円増（2.3%増）となる 4,612 百万円の見込みとなりました。

感染管理事業につきましては、流通在庫の調整に向けた返品が発生が見込み通りとなった一方、広告宣伝や店頭販売促進策の強化等が奏功し、出荷につきましては、前回予想時の計画を大きく上回りました。これにより、当期の感染管理事業の売上高は、前回予想に比して 200 百万円の増加を見込むものの、返品金額が出荷金額を上回る△20 百万円の見込みとなりました。

なお、今回発表予想の売上高におけるセグメント別内訳は以下の通りであります。

セグメント別連結売上高(平成 23 年 3 月期連結会計年度)

(単位：百万円)

	医薬品事業	感染管理事業	その他事業	売上高合計
前回発表予想 (A)	4,510	△221	23	4,312
今回発表予想 (B)	4,612	△20	26	4,619
増減額 (B - A)	102	200	3	307
増減率 (%)	2.3	—	16.3	7.1
(ご参考) 前期実績	4,851	3,931	33	8,816

(損益面)

前回予想におきましては、感染管理事業に係る在庫水準の適正化や製品保管料削減を目的として、過剰と判断した在庫に関しましては、当期中の処分を予定し、係る損失を売上原価に計上しておりました。一方、売上高が予想を上回ったことに加え、一部製品の販売終了等に伴い、当該損失の大半を売上原価ではなく、「たな卸資産処分損」として特別損失に計上したこと等から、前回予想に比して売上総利益は大幅に増加致しました。さらには、販売費及び一般管理費が前回予想の範囲で推移したこともあり、営業損益は、前回予想比610百万円の損失幅縮小となる△1,242百万円、経常損益は、想定した為替差損の縮小もあり、前回予想比667百万円の損失幅縮小となる△1,192百万円の見込みとなりました。

また一方、「投資有価証券評価損」及び不動産の「減損損失」等に加え、前回予想では見込まなかった事業構造改善（感染管理事業の一部在庫処分、希望退職者の募集等）に伴う「たな卸資産処分損」や「割増退職金」等の特別損失を計上したことから、当期純損益は、前回予想並の△2,228百万円の見込みとなりました。

なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上